

コミュニティーズ

下府中まちづくり委員会では、地域キャッチフレーズ『小田原の中核として発展し、みんな仲良く生き生きと暮らせる町、下府中』のもと様々な活動を行っています。令和3年度の活動状況を紹介します。これからも下府中地域の多くの方が楽しく参加できるように進めてまいります。皆さんのご参加をお待ちしています。

全体事業活動

令和3年度のまちづくり委員会の活動は、新型コロナウイルス感染症の第5波の影響を受け、停滞を余儀なくされた一年でした。しかしながら下府中まちづくり委員会の活動は、メインテーマである「防犯活動とあいさつ活動を兼ねた清掃活動の実施」は、コロナ禍の状況の中でも各自治会の創意工夫により、3密を避けながら脈々と実施してまいりました。特に地域の清掃活動は、油断するとゴミの山になる恐れがあるため、少人数でも活動を続け、ゴミの無い下府中を実践してまいりました。以下に、その活動の写真を掲載しましたのでご覧ください。



(中里1-1)

年度	参加人数
平成27年	1,358人
平成28年	1,165人
平成29年	1,237人
平成30年	1,221人
令和1年	1,056人
令和2年	858人
令和3年	785人(4~12月)

《活動日》
毎月第4木曜日
15時～
(1時間弱)



(中里1-2)



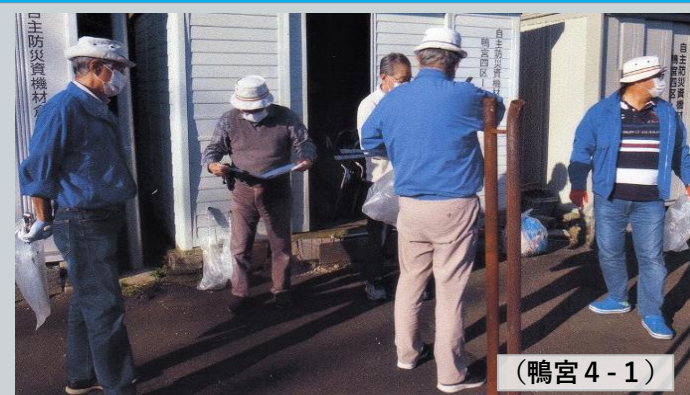
(中里2)



(鴨宮2)



(鴨宮3)



(鴨宮4-1)



(鴨宮4-2)



(鴨宮5)



(大道)



(下堀)



(矢作)

『ゴミ出しルールを守って！』

鴨宮3区自治会のあいさつ運動は、矢作小学校の子どもの下校時に、水道道での交通安全の見守り、あいさつ活動を実施しています。いきいきクラブ（旧老人会）や地区役員の方の自主的参加により概ね4～7名程度で実施しています。

横断歩道をわたる時に、立ち止まり左右確認する子どもを褒めてあげると、嬉しそうに見上げてくれ、その顔を見ているとほっとした安心感が漂い、毎日の安全を心より祈ってしまいます。

美化清掃は、ヤマダ電機まへの巡礼街道周辺から、東海道線沿い周辺までと広範囲のゴミ拾いを行っています。

毎回の参加者は7名前後であり、分別の行われていない収集所を重点に、残されたゴミの分別をして収集日に出しています。



「お願いします。ゴミを出される時には、
ちゃんと分別して、決められた日に
お出し下さい。」

また先日には、ゴミネットの張り替えを美化清掃委員が中心となり役員の協力で行ない、周辺の清掃も実施しました。皆さんのご理解とご協力により、住みよい鴨宮3区にしていきたいと思います。

鴨宮3区自治会 会長 鈴木 久



令和 3 年 度

～ 公園も自分たちの手で～

東海道線沿いにある“みどりの広場”は、小さな子どもの遊び場、年配の方たちの憩いの場となっています。また、大道自治会でも、どんど焼き・春の祭礼・夏祭り等の会場として使わせてもらっています。

5年ほど前に芝生を植えました。今では一面に広がって緑の絨毯になっていて、子どもが遊んで転んでもけがの心配はありません。春から秋口にかけては芝生・雑草ともに成長の良い時期なので、大道自治会では1ヶ月に1回ぐらいのペースで芝刈りと草取りをしています。

広場の主の部分は下府中小学校の芝生の管理もしていただいている下府中コミュニティShin2さんが芝刈り機で刈ってくれるので、自治会ではフェンス際や防災倉庫の周りなど芝刈り機では出来ないところの草取りをしています。

前回紹介した子どもがペイントしたベンチも健在です。近くに来る機会がありましたら是非“みどりの広場”でゆったりとした時間を過ごされてはいかがでしょうか。

大道自治会 会長 植田 敏光



健康分科会

～ ウォーキング「わが街を歩き歴史を学ぼう」第4弾 国府津編～

健康分科会では、地域の方が絆を深め健康で文化的な生活を営む一助として、今年もウォーキング「わが街を歩き歴史を学ぼう」を実施しました。

今回は、第4弾として、令和3年11月21日（日）に国府津地区を歩き歴史ある寺社等を巡りました。

当日は花曇りのウォーキング日和となりました。コロナウイルス感染者が減ったことも手伝ってか、今年は昨年を上回る総勢31名の方の参加を得て行うことができました。

2名の小田原ガイド協会の方の案内で、国府津駅前の公園を起点に2班に分かれて出発しました。国府津の地は比較的良好に分かっているつもりでしたが、自分の中では新発見も多く改めて歴史の地「国府津」の素晴らしさ、当時の繁栄ぶりを再認識することができました。真楽寺、菅原神社、御勧堂、長泉寺、国府津機関区「転車台跡」など全部で14箇所ほどの見学ポイントがありましたが、ガイドの方の面白いエピソードを交えた分かりやすい説明もあり、とても楽しく歩くことができました。個人的には「清正公堂」に惹かれました。初めて訪れた所であり、普段だったら見過ごしてしまう所なので一万歩ほど歩いたご褒美があったなと思っています。とにかくとても有意義な時間を過ごすことができました。

来年度も、新たなコースを立ち上げてウォーキングを行いたいと考えています。健康増進のためにも、皆様と一緒に歩きましょう。

健康分科会 会長
山田 徹夫



国府津駅前の集合写真



菅原神社の境内



出し柁作りの街並み



長泉寺の灯籠



清正公堂

河川美化分科会

～ 河川清掃 今年度も断念～

住民自らの手で河川の清掃を行うことにより、良好な自然環境の保全と環境美化意識の向上を図ることを目的とし、平成29年度は酒匂堰・小八幡川1.47km、平成30年度から下菊川1.42kmを加えた2河川の一斉清掃活動を実施してきました。

しかし、一昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により中止、昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大が収まる兆しを見ながら、分科会で検討を重ねてきましたが、夏場の第5波の拡大傾向を鑑み、残念ながら中止の決断をいたしました。

今年こそは、新型コロナウイルス感染症の終息を願い、二年間の河川のゴミを一掃するべく、河川清掃を実施したいものです。

河川美化分科会 会長 夏苅 宏



防災分科会

～防災の思い～

「自分たちの暮らし安全は自分で守る、地域の防災は地域で考え行動に移す」の考えから防災分科会は、下府中地区広域避難所運営委員会の補助的な部門として、防災訓練内容の検討並びに新型コロナ対応の避難マニュアルの整備など中心に活動しております。近年至る所で土砂崩れなど各種自然災害が発生しておりますが、幸いにも下府中地区は大きな被害はなく何かと気の緩みに繋がる恐れもあり、気を付けたい所でもあります。ただ予兆できない地震に対する備えは何時でも怠ってはなりません。今一度、過去の災害を振り返り過去に学び、地域としてできることを着実に進めなければなりません。

残念なことに昨年からの新型コロナウイルス感染症のため、本年度は分科会活動を自粛しましたが、活動再開の折には安心なまちづくりために活動していきたいと考えております。

防災分科会 会長 秋山 榮太郎



2019.10.12 撮影

自治会活動の紹介 ～鴨宮5区自治会～

～ おだわら地域力市民力表彰を受賞～

鴨宮5区が管理運営を委託されている下府中集会施設の東側のブロック塀が撤去されたため、自治会が主体となってこのスペースに、従来から管理していた駐車場の前面の花壇とともに四季折々の草花を植えています。

この新たなスペースは、概ね、幅20～29cm、長さ1,620cmであり、2008年よりスタートし、13年間続けてまいりました。この間、近所の方々から大変ご好評で、憩いの場として定着している

ようで、草花の管理に力が入るようです。住民自らの手で環境美化に取り組んでいる姿勢に、小田原市より鴨宮5区自治会 副会長 福井敏子さんが「おだわら地域力市民力表彰」を受賞されました。

鴨宮5区自治会 会長 高砂 昇

